

財政健全化計画等執行状況

町が大きな事業を実施する場合、借金をしてお金を都合し、毎年その元金と利子を支払っています。通常、繰上償還（期限より前に借金を返すこと）する場合、利子から計算した「補償金」を支払わなければなりませんが、行政改革・経営改革を内容とした「財政健全化計画・経営健全化計画」を策定すると「補償金なし」で繰上償還できるという特別な制度ができました。小坂町もこの制度を利用して普通会計・簡易水道事業特別会計・水道事業会計で平成19年度～21年度に、下水道事業特別会計は平成21年度～平成22年度に、国などから5%以上の高金利で借り入れた資金を繰上償還しました。行政改革・経営改革の計画がどれだけ達成できたかをお知らせします。

計画の執行状況は「a～g」の類型で判定され、判定欄の「c」は計画が達成できないのはやむを得ない事情によると認められた場合です。やむを得ない事情があるとはいえ、今後も計画最終年度の目標値をできるだけ達成できるよう努力したいと思います。

普通会計(平成19年計画)

項目	計画最終年度		平成22年度		判定
	目標値	目標値	実績値	乖離値	
① 地方債現在高(百万円)	4,085	4,158	4,187	▲ 29	c
② 実質公債費比率(%)	16.5	16.0	13.1	2.9	a
③ 職員数(人)	63	66	70	▲ 4	c
④ 改善額(百万円)	359	90	51	▲ 39	c
総合判定					c

制度上やむを得ない借金の増加や、計画より早い職員採用を実施したこと、地域経済活性化のための臨時の支出等があり、最終目標の達成が難しい状況です。

簡易水道事業特別会計(平成19年計画)

項目	計画最終年度		平成22年度		判定
	目標値	目標値	実績値	乖離値	
① 職員数(人)	1	1	1	0	a
② 改善額(百万円)	17.7	4.1	3.1	▲ 1.0	c
③ 企業債現在高(百万円)	115	122	122	0	a
総合判定					c

経営改善のため、料金収入の増を目標としましたが、十和田湖の観光客が減少したことや、大規模宿泊施設の廃業等で目標達成が難しい状況です。

水道事業会計(平成19年計画)

項目	計画最終年度		平成22年度		判定
	目標値	目標値	実績値	乖離値	
① 職員数(人)	1	1	1	0	a
② 改善額(百万円)	41.0	10.0	15.7	5.7	a
③ 企業債現在高(百万円)	3,001	3,063	2,713	350	a
総合判定					a

最終目標は達成する見込みです。

下水道事業特別会計(平成21年計画)

項目	計画最終年度		平成22年度		判定
	目標値	目標値	実績値	乖離値	
① 職員数(人)	2	2	1	1	a
② 改善額(百万円)	30.0	4.0	6.0	2	a
③ 企業債現在高(百万円)	1,817	1,650	1,387	263	a
総合判定					a

最終目標は達成する見込みです。